

2 学年医学セミナー (R5. 06. 10)

令和 5 年 6 月 10 日午後、須磨崎 亮茨城県立こども病院名誉院長を本校にお迎えして、医学セミナーを開催しました。今セミナーは将来職業として医師を志望する生徒を対象に、医療現場の先生の講話を通してその職責の重大性や社会貢献の意義について考えさせつつ、進路意識の高揚を図ることを目標としており、今回は医学コースの生徒を中心に 2 年生 27 名が参加しました。

事前に示していただいた講義プランは NIPT（無侵襲的出生前胎児遺伝学的検査）と講義直後に成立した「ゲノム医療法案」の両者を関連させた現代的なテーマを扱ったものであり、それぞれの生徒に強い印象を与えることを期待させるものでした。テーマ論文としては慈恵医科大の佐村修先生の「胎盤由来 cell free DNA の臨床応用」が指定され、その内容を理解するために、5 つの生徒用研究テーマを示していただきました。

扱う内容は現在の学習内容と比して大変高度であり、加えてゲノム医療法案についての朝日新聞の社説データも直前に提供されたため、生徒達は許された時間をフルに活用し、できる限りの準備を進めていきました。

生徒の司会で始まった会は前半に 5 つのテーマについてグループの代表者がプレゼンを行い、後半に須磨崎先生の講義と質疑応答が行われ、最後に謝辞で終了しました。予定終了時刻をオーバーして行われたにも関わらず、やはり内容は難解であり、それぞれの生徒が自らの知識不足を意識しつつの終わりとなりましたが、同時に今後の医学系各行事との繋がりがイメージすることができた有意義な時間となりました。

